

1.1. 情報基盤システムとは

名 称	説 明
情報基盤システム (ICT)	事務サービスから教育支援、学生生活のサポートなど様々な場面における基盤となるシステムです。本書に記載されているシステム・サービスがこれに該当します。ICT（アイシーティー）とも呼ばれます。
教育用計算機システム (Edsys)	情報基盤システムを利用するためのコンピューターシステムの総称です。Edsys（エーディーバイエス）とも呼ばれます。個々のPCは「教育用端末」と呼ばれ、授業の一環として使用したり、授業時間外であれば自由利用したりできます（p.22）。

名 称	説 明
IC カード (スマートカード)	本学の職員証、学生証、および利用証にはICカード機能があります。この機能により、表面に印刷されている身分証としての機能だけではなく、 <u>電子的に身分を証明する</u> 機能もあります。また、ICカードはスマートカードといわれることもあります。本学においての <u>IC カード・スマートカードは、職員証、学生証、および利用証を指します</u> （p.10・15）。ICカード認証に用いられます。
	IC カードとパスワードの組み合わせを利用した認証方式です。スマ

現在は様々な事柄がコンピュータで支援、サポートされています。今日のタイトルである情報基盤システムとは、本学における個々のコンピュータサブシステムの総称であり、これらは相互に適切に結びついています。また、学生証には「ICカード」の機能が備わっているため、学内では学生証のことをICカードと呼ぶことがあります。なお、英語ではスマートカードと言います。

Microsoft Edge

学生用ユーザーズガイド抜粋版.pdf

ファイル | C:/Users/kenji/Desktop/学生用ユーザーズガイ...

IC カード認証

名工大 ID

パスワード

名工大 ID 認証

スマホ・電話認証

ド・スマートカードは、職員証、学生証、および利用証を指します
(p.10・15)。IC カード認証に用いられます。

IC カードとパスワードの組み合わせを利用した認証方式です。スマート・電話認証と同等の高い認証強度を持ちます。[教育用端末](#)ならびに[事務用シンクライアント端末](#)へのログインに必須です。

初回入学時の職員／学生番号をもとに生成される、3桁のアルファベットで始まり5桁の数字で終わる8桁の英数字列です（例：abc12345／p.15）。名工大 ID 認証ならびにスマホ・電話認証に用いられます。進学・転学科等があっても変更されることはありません。また、[基盤 ID](#)と呼ばれることがあります。

「IC カード」または「名工大 ID」とセットでキーボード入力することにより、[銀行印程度の効力](#)を発揮する暗証コードです。[絶対に他人に教えてはいけません](#)（p.16）。IC カード認証／スマホ・電話認証／名工大 ID 認証のパスワードとして用いられます。

名工大 ID とパスワードの組み合わせを利用した認証方式です。標準的な認証強度を持ちます。

一般的には多要素認証と呼ばれるもので、名工大 ID 認証＋スマホアプリ・電話のいずれかの組み合わせを利用した認証方式です。2021年度入学の学生（大学院含む）から、スマホ・携帯必携とし、大学内の多要素認証の核としてより強固なセキュリティを担保しています。利用するには事前に設定が必要で、[VPN 接続サービス](#)および[Office 365 サービス群](#)へのログインに必須です。

キャンパス情報ネット いわゆる「学内ネットワーク（LAN）」を指します。情報基盤システムではICカードやスマートフォンアプリによる認証を行っておりこれを「ICカード認証」、「スマホ電話認証」→改名されました：「スマホ認証」と呼んでいます。（2章、特に2.1～2.5節も参考にしてください。）

00:00 2022/03/00

Microsoft Edge

学生用ユーザーズガイド抜粋版.pdf

ファイル | C:/Users/kenji/Desktop/学生用ユーザーズガイ...

1.2. 名工大キャンパス情報ネットワーク（MAINS）利用の心得

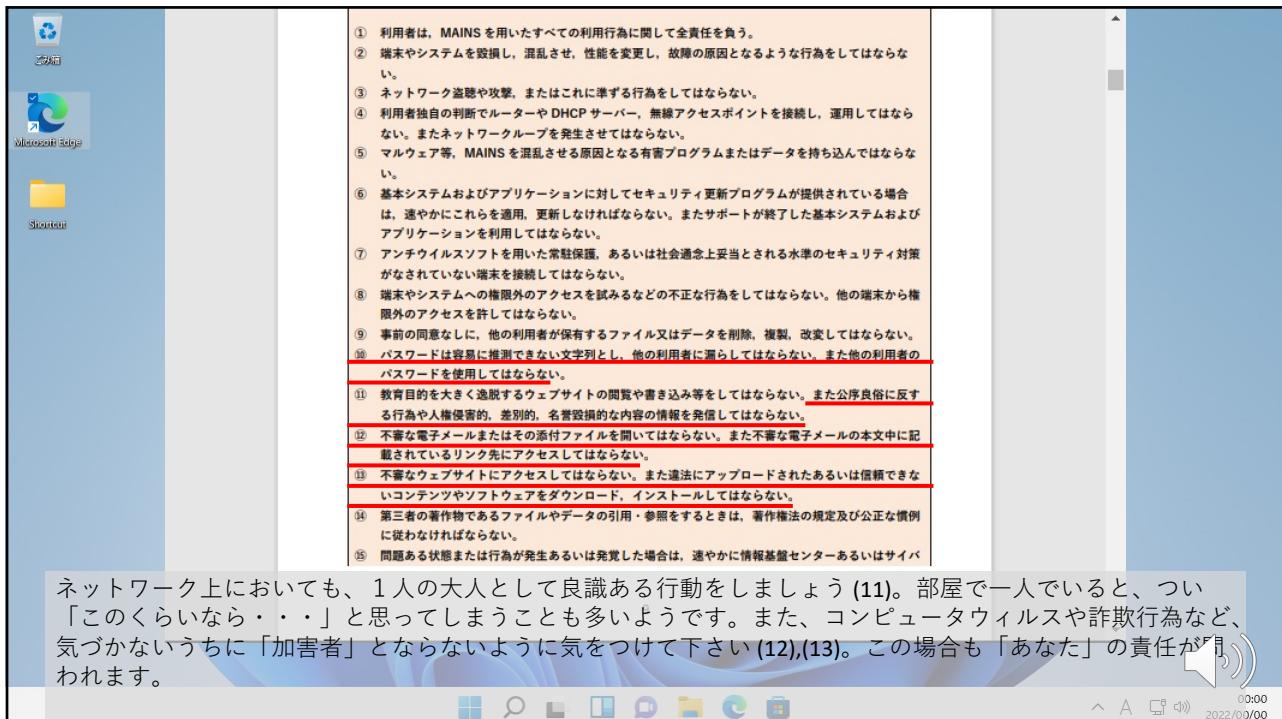
情報基盤システムやキャンパス情報ネットワーク（MAINS）の利用にあたっては、次の心得（2020年9月1日改訂）を遵守し、他者に迷惑をかけないように努めてください。

（定義）
名工大キャンパス情報ネットワーク（以下、MAINSと呼ぶ）は、本学の学内ネットワークやこれを構成するためのVPN装置を含むネットワーク機器またはサーバー機器、ネットワーク上で提供されるサービス、これらに接続し利用する全ての端末を指す。

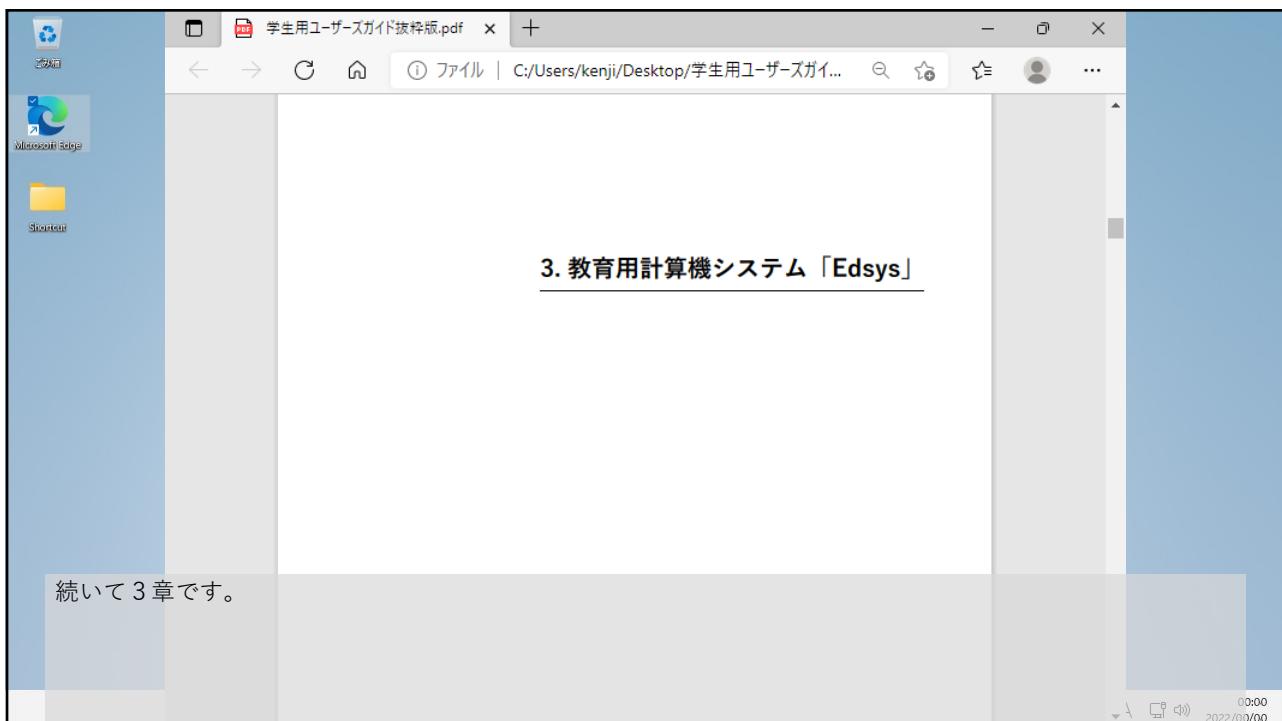
- ① 利用者は、MAINS を用了べての利用行為に関して全責任を負う。
- ② 端末やシステムを毀損し、混亂させ、性能を変更し、故障の原因となるような行為をしてはならない。
- ③ ネットワーク監視や攻撃、またはこれに準ずる行為をしてはならない。
- ④ 利用者独自の判断でルーターや DHCP サーバー、無線アクセスポイントを接続し、運用してはならない。またネットワークループを発生させてはならない。
- ⑤ マルウェア等、MAINS を混亂させる原因となる有害プログラムまたはデータを持ち込んではならない。
- ⑥ 基本システムおよびアプリケーションに対してセキュリティ更新プログラムが提供されている場合は、速やかにこれらを適用、更新しなければならない。またサポートが終了した基本システムおよびアプリケーションを利用してはならない。
- ⑦ アンチウイルスソフトを用いた常駐保護、あるいは社会通念上妥当とされる水準のセキュリティ対策がなされていない端末を接続してはならない。
- ⑧ 端末やシステムへの接続外のアクセスを試みるなどの不正な行為をしてはならない。他の端末から権限を奪う行為や個人権利侵害の、差別的、名誉毀損的な内容の情報を発信してはならない。
- ⑨ 教育目的を大きく逸脱するウェブサイトの閲覧や書き込み等をしてはならない。また公序良俗に反する行為や人権侵害的、差別的、名誉毀損的な内容の情報を発信してはならない。
- ⑩ 不審な電子メールまたはその添付ファイルを開いてはならない。また不審な電子メールの本文中に記載されたリンクをクリックしてはならない。
- ⑪ 不審な電子メールまたはその添付ファイルを開いてはならない。また不審な電子メールの本文中に記載されたリンクをクリックしてはならない。

復習時には「利用の心得」のページを開いてください。先ほど説明したパスワードを含むアカウント情報や、認証に利用するICカードなどは、各自の責任において管理してください(10)。友達が忘れたからといって安易に貸借りできるものではありません。漏洩の上、不正利用された場合には、「あなた」の責任が問われます。

00:00 2022/03/00



ネットワーク上においても、1人の大人として良識ある行動をしましょう(11)。部屋で一人でいると、つい「このくらいなら・・・」と思ってしまうことも多いようです。また、コンピュータウイルスや詐欺行為など、気づかぬうちに「加害者」とならないように気をつけて下さい(12),(13)。この場合も「あなた」の責任が問われる



Microsoft Edge

学生用ユーザーズガイド抜粋版.pdf

3.1. 教育用計算機システム（Edsys）について

本学発行の IC カード（学生証または職員証）を持つ学生および教職員は、以下の場所に設置されている約 530 台の教育用計算機システムの端末（教育用端末）を利用する事が出来ます。

→教育用端末の設置場所と設置台数

建物名称	階	設置場所名称	教育用端末	プリンター	利用時間
20号館	1階	PC ラボ	20	1	授業実施期間（平日） 08:00~21:30 ^{※4} ●入室に要 IC カード
	2階	2029 講義室 ^{※5}	205	-	授業実施期間（平日） 08:00~17:00 ^{※1※2※3}
11号館	2階	1129 講義室	66	-	授業実施期間（平日） 08:00~21:30 ^{※1} ^{※2}
21号館	3階	2139 講義室	66	-	08:00~21:30 ^{※1} ^{※2}
24号館	3階	2439 講義室	61	-	●入室に要 IC カード
19号館	2階	ゆめ空間	10	1	
		Global Network Room	20	-	
NITech Hall	2階	LI:NCs PC エリア	11	1	LI:NCs 開館時間（図書館ホームページ参照）
	1階	情報検索コーナー	8	-	図書館開館時間（図書館ホームページ参照）
		PC/AV コーナー	13	-	
※1 夏季／冬季等の長期休業期間中の自由利用はできません。					
※2 講義中は、受講者以外は利用できません。					
※3 二部の講義のため、利用時間が延長される場合があります。その際の自由利用はできません。					

教育用計算機システムのうち、実際に皆さんのが手に触れて利用する「パソコン」は、学内各所に分散設置されています。

Microsoft Edge

学生用ユーザーズガイド抜粋版.pdf

■21号館
3F:2139講義室

■20号館
1F:PCラボ・情報基盤センター（ITサポート窓口）
2F:2029講義室

■19号館
2F:ゆめ空間・Global Network Room

■11号館
2F:1129講義室

■22号館
2F:2239講義室

■2号館
1F:2号館

■20号館
2階女性トイレ
1階男性トイレ

■24号館
2F:2439講義室

■2号館
2F:2号館

■1号館
1F:1号館

■3号館
1F:3号館

■4号館
1F:4号館

■5号館
1F:5号館

■6号館
1F:6号館

■7号館
1F:7号館

■8号館
1F:8号館

■9号館
1F:9号館

■10号館
1F:10号館

■11号館
1F:11号館

■12号館
1F:12号館

■13号館
1F:13号館

■14号館
1F:14号館

■15号館
1F:15号館

■16号館
1F:16号館

■17号館
1F:17号館

■18号館
1F:18号館

■19号館
1F:19号館

■20号館
1F:20号館

■21号館
1F:21号館

■22号館
1F:22号館

■23号館
1F:23号館

■24号館
1F:24号館

■25号館
1F:25号館

■26号館
1F:26号館

■27号館
1F:27号館

■28号館
1F:28号館

■29号館
1F:29号館

■30号館
1F:30号館

■31号館
1F:31号館

■32号館
1F:32号館

■33号館
1F:33号館

■34号館
1F:34号館

■35号館
1F:35号館

■36号館
1F:36号館

■37号館
1F:37号館

■38号館
1F:38号館

■39号館
1F:39号館

■40号館
1F:40号館

■41号館
1F:41号館

■42号館
1F:42号館

■43号館
1F:43号館

■44号館
1F:44号館

■45号館
1F:45号館

■46号館
1F:46号館

■47号館
1F:47号館

■48号館
1F:48号館

■49号館
1F:49号館

■50号館
1F:50号館

■51号館
1F:51号館

■52号館
1F:52号館

■53号館
1F:53号館

■54号館
1F:54号館

■55号館
1F:55号館

■56号館
1F:56号館

■57号館
1F:57号館

■58号館
1F:58号館

■59号館
1F:59号館

■60号館
1F:60号館

■61号館
1F:61号館

■62号館
1F:62号館

■63号館
1F:63号館

■64号館
1F:64号館

■65号館
1F:65号館

■66号館
1F:66号館

■67号館
1F:67号館

■68号館
1F:68号館

■69号館
1F:69号館

■70号館
1F:70号館

■71号館
1F:71号館

■72号館
1F:72号館

■73号館
1F:73号館

■74号館
1F:74号館

■75号館
1F:75号館

■76号館
1F:76号館

■77号館
1F:77号館

■78号館
1F:78号館

■79号館
1F:79号館

■80号館
1F:80号館

■81号館
1F:81号館

■82号館
1F:82号館

■83号館
1F:83号館

■84号館
1F:84号館

■85号館
1F:85号館

■86号館
1F:86号館

■87号館
1F:87号館

■88号館
1F:88号館

■89号館
1F:89号館

■90号館
1F:90号館

■91号館
1F:91号館

■92号館
1F:92号館

■93号館
1F:93号館

■94号館
1F:94号館

■95号館
1F:95号館

■96号館
1F:96号館

■97号館
1F:97号館

■98号館
1F:98号館

■99号館
1F:99号館

■100号館
1F:100号館

■101号館
1F:101号館

■102号館
1F:102号館

■103号館
1F:103号館

■104号館
1F:104号館

■105号館
1F:105号館

■106号館
1F:106号館

■107号館
1F:107号館

■108号館
1F:108号館

■109号館
1F:109号館

■110号館
1F:110号館

■111号館
1F:111号館

■112号館
1F:112号館

■113号館
1F:113号館

■114号館
1F:114号館

■115号館
1F:115号館

■116号館
1F:116号館

■117号館
1F:117号館

■118号館
1F:118号館

■119号館
1F:119号館

■120号館
1F:120号館

■121号館
1F:121号館

■122号館
1F:122号館

■123号館
1F:123号館

■124号館
1F:124号館

■125号館
1F:125号館

■126号館
1F:126号館

■127号館
1F:127号館

■128号館
1F:128号館

■129号館
1F:129号館

■130号館
1F:130号館

■131号館
1F:131号館

■132号館
1F:132号館

■133号館
1F:133号館

■134号館
1F:134号館

■135号館
1F:135号館

■136号館
1F:136号館

■137号館
1F:137号館

■138号館
1F:138号館

■139号館
1F:139号館

■140号館
1F:140号館

■141号館
1F:141号館

■142号館
1F:142号館

■143号館
1F:143号館

■144号館
1F:144号館

■145号館
1F:145号館

■146号館
1F:146号館

■147号館
1F:147号館

■148号館
1F:148号館

■149号館
1F:149号館

■150号館
1F:150号館

■151号館
1F:151号館

■152号館
1F:152号館

■153号館
1F:153号館

■154号館
1F:154号館

■155号館
1F:155号館

■156号館
1F:156号館

■157号館
1F:157号館

■158号館
1F:158号館

■159号館
1F:159号館

■160号館
1F:160号館

■161号館
1F:161号館

■162号館
1F:162号館

■163号館
1F:163号館

■164号館
1F:164号館

■165号館
1F:165号館

■166号館
1F:166号館

■167号館
1F:167号館

■168号館
1F:168号館

■169号館
1F:169号館

■170号館
1F:170号館

■171号館
1F:171号館

■172号館
1F:172号館

■173号館
1F:173号館

■174号館
1F:174号館

■175号館
1F:175号館

■176号館
1F:176号館

■177号館
1F:177号館

■178号館
1F:178号館

■179号館
1F:179号館

■180号館
1F:180号館

■181号館
1F:181号館

■182号館
1F:182号館

■183号館
1F:183号館

■184号館
1F:184号館

■185号館
1F:185号館

■186号館
1F:186号館

■187号館
1F:187号館

■188号館
1F:188号館

■189号館
1F:189号館

■190号館
1F:190号館

■191号館
1F:191号館

■192号館
1F:192号館

■193号館
1F:193号館

■194号館
1F:194号館

■195号館
1F:195号館

■196号館
1F:196号館

■197号館
1F:197号館

■198号館
1F:198号館

■199号館
1F:199号館

■200号館
1F:200号館

■201号館
1F:201号館

■202号館
1F:202号館

■203号館
1F:203号館

■204号館
1F:204号館

■205号館
1F:205号館

■206号館
1F:206号館

■207号館
1F:207号館

■208号館
1F:208号館

■209号館
1F:209号館

■210号館
1F:210号館

■211号館
1F:211号館

■212号館
1F:212号館

■213号館
1F:213号館

■214号館
1F:214号館

■215号館
1F:215号館

■216号館
1F:216号館

■217号館
1F:217号館

■218号館
1F:218号館

■219号館
1F:219号館

■220号館
1F:220号館

■221号館
1F:221号館

■222号館
1F:222号館

■223号館
1F:223号館

■224号館
1F:224号館

■225号館
1F:225号館

■226号館
1F:226号館

■227号館
1F:227号館

■228号館
1F:228号館

■229号館
1F:229号館

■230号館
1F:230号館

■231号館
1F:231号館

■232号館
1F:232号館

■233号館
1F:233号館

■234号館
1F:234号館

■235号館
1F:235号館

■236号館
1F:236号館

■237号館
1F:237号館

■238号館
1F:238号館

■239号館
1F:239号館

■240号館
1F:240号館

■241号館
1F:241号館

■242号館
1F:242号館

■243号館
1F:243号館

■244号館
1F:244号館

■245号館
1F:245号館

■246号館
1F:246号館

■247号館
1F:247号館

■248号館
1F:248号館

■249号館
1F:249号館

■250号館
1F:250号館

■251号館
1F:251号館

■252号館
1F:252号館

■253号館
1F:253号館

■254号館
1F:254号館

■255号館
1F:255号館

■256号館
1F:256号館

■257号館
1F:257号館

■258号館
1F:258号館

■259号館
1F:259号館

■260号館
1F:260号館

■261号館
1F:261号館

■262号館
1F:262号館

■263号館
1F:263号館

■264号館
1F:264号館

■265号館
1F:265号館

■266号館
1F:266号館

■267号館
1F:267号館

■268号館
1F:268号館

■269号館
1F:269号館

■270号館
1F:270号館

■271号館
1F:271号館

■272号館
1F:272号館

■273号館
1F:273号館

■274号館
1F:274号館

■275号館
1F:275号館

■276号館
1F:276号館

■277号館
1F:277号館

■278号館
1F:278号館

■279号館
1F:279号館

■280号館
1F:280号館

■281号館
1F:281号館

■282号館
1F:282号館

■283号館
1F:283号館

■284号館
1F:284号館

■285号館
1F:285号館

■286号館
1F:286号館

■287号館
1F:287号館

■288号館
1F:288号館

■289号館
1F:289号館

■290号館
1F:290号館

■291号館
1F:291号館

■292号館
1F:292号館

■293号館
1F:293号館

■294号館
1F:294号館

■295号館
1F:295号館

■296号館
1F:296号館

■297号館
1F:297号館

■298号館
1F:298号館

■299号館
1F:299号館

■300号館
1F:300号館

■301号館
1F:301号館

■302号館
1F:302号館

■303号館
1F:303号館

■304号館
1F:304号館

■305号館
1F:305号館

■306号館
1F:306号館

■307号館
1F:307号館

■308号館
1F:308号館

■309号館
1F:309号館

■310号館
1F:310号館

■311号館
1F:311号館

■312号館
1F:312号館

■313号館
1F:313号館

■314号館
1F:314号館

■315号館
1F:315号館

■316号館
1F:316号館

■317号館
1F:317号館

■318号館
1F:318号館

■319号館
1F:319号館

■320号館
1F:320号館

■321号館
1F:321号館

■322号館
1F:322号館

■323号館
1F:323号館

■324号館
1F:324号館

■325号館
1F:325号館

■326号館
1F:326号館

■327号館
1F:327号館

■328号館
1F:328号館

■329号館
1F:329号館

■330号館
1F:330号館

■331号館
1F:331号館

■332号館
1F:332号館

■333号館
1F:333号館

■334号館
1F:334号館

■335号館
1F:335号館

■336号館
1F:336号館

■337号館
1F:337号館

■338号館
1F:338号館

■339号館
1F:339号館

■340号館
1F:340号館

■341号館
1F:341号館

■342号館
1F:342号館

■343号館
1F:343号館

■344号館
1F:344号館

■345号館
1F:345号館

■346号館
1F:346号館

■347号館
1F:347号館

■348号館
1F:348号館

■349号館
1F:349号館

■350号館
1F:350号館

■351号館
1F:351号館

■352号館
1F:352号館

■353号館
1F:353号館

■354号館
1F:354号館

■355号館
1F:355号館

■356号館
1F:356号館

■357号館
1F:357号館

■358号館
1F:358号館

■359号館
1F:359号館

■360号館
1F:360号館

■361号館
1F:361号館

■362号館
1F:362号館

■363号館
1F:363号館

■364号館
1F:364号館

■365号館
1F:365号館

■366号館
1F:366号館

■367号館
1F:367号館

■368号館
1F:368号館

■369号館
1F:369号館

■370号館
1F:370号館

■371号館
1F:371号館

■372号館
1F:372号館

■373号館
1F:373号館

■374号館
1F:374号館

■375号館
1F:375号館

■376号館
1F:376号館

■377号館
1F:377号館

■378号館
1F:378号館

■379号館
1F:379号館

■380号館
1F:380号館

■381号館
1F:381号館

■382号館
1F:382号館

■383号館
1F:383号館

■384号館
1F:384号館

■385号館
1F:385号館

■386号館
1F:386号館

■387号館
1F:387号館

■388号館
1F:388号館

■389号館
1F:389号館

■390号館
1F:390号館

■391号館
1F:391号館

■392号館
1F:392号館

■393号館
1F:393号館

■394号館
1F:394号館

■395号館
1F:395号館

■396号館
1F:396号館

■397号館
1F:397号館

■398号館
1F:398号館

■399号館
1F:399号館

■400号館
1F:400号館

■401号館
1F:401号館

■402号館
1F:402号館

■403号館
1F:403号館

■404号館
1F:404号館

■405号館
1F:405号館

■406号館
1F:406号館

■407号館
1F:407号館

■408号館
1F:408号館

■409号館
1F:409号館

■410号館
1F:410号館

■411号館
1F:411号館

■412号館
1F:412号館

■413号館
1F:413号館

■414号館
1F:414号館

■415号館
1F:415号館

■416号館
1F:416号館

■417号館
1F:417号館

■418号館
1F:418号館

■419号館
1F:419号館

■420号館
1F:420号館

■421号館
1F:421号館

■422号館
1F:422号館

■423号館
1F:423号館

■424号館
1F:424号館

■425号館
1F:425号館

■426号館
1F:426号館

■427号館
1F:427号館

■428号館
1F:428号館

■429号館
1F:429号館

■430号館
1F:430号館

■431号館
1F:431号館

■432号館
1F:432号館

■433号館
1F:433号館

■434号館
1F:434号館

■435号館
1F:435号館

■436号館
1F:436号館

■437号館
1F:437号館

■438号館
1F:438号館

■439号館
1F:439号館

■440号館
1F:440号館

■441号館
1F:441号館

■442号館
1F:442号館

■443号館
1F:443号館

■444号館
1F:444号館

■445号館
1F:445号館

■446号館
1F:446号館

■447号館
1F:447号館

■448号館
1F:448号館

■449号館
1F:449号館

■450号館
1F:450号館

■451号館
1F:451号館

■452号館
1F:452号館

■453号館
1F:453号館

■454号館
1F:454号館

■455号館
1F:455号館

■456号館
1F:456号館

■457号館
1F:457号館

■458号館
1F:458号館

■459号館
1F:459号館

■460号館
1F:460号館

■461号館
1F:461号館

■462号館
1F:462号館

■463号館
1F:463号館

■464号館
1F:464号館

■465号館
1F:465号館

■466号館
1F:466号館

■467号館
1F:467号館

■468号館
1F:468号館

■469号館
1F:469号館

■470号館
1F:470号館

■471号館
1F:471号館

■472号館
1F:472号館

■473号館
1F:473号館

■474号館
1F:474号館

■475号館
1F:475号館

■476号館
1F:476号館

■477号館
1F:477号館

■478号館
1F:478号館

■479号館
1F:479号館

■480号館
1F:480号館

■481号館
1F:481号館

■482号館
1F:482号館

■483号館
1F:483

国立大学法人名古屋工業大学 情報基盤システム・キャンパス情報ネットワーク ユーザーズガイド 2022 (学生用・抜粋版)

3.2. 教育用端末利用の利用方法

教育用端末を利用するためには本学発行の IC カード（学生証または職員証）が必要です。
教育用端末利用中は常に IC カードを IC カードリーダーの上に置いておく必要があります。

→教育用端末利用における注意事項

- 教育用端末設置場所への飲食物の持ち込みは厳禁です。
やむなく持ち込む場合は、かばんに入れてその口を閉じてください。レジ袋の場合も同様です。
- ゆめ空間/PC ラボ/図書館/NITech Hall に設置してある教育用端末で USB フラッシュメモリー等を利用する場合は、**延長ケーブルにつながった外付けの USB ポート**を利用してください。ガムテープで塞いである本体側の USB ポートは絶対に使わないでください。
- 違反者には**教育用端末利用アカウント停止などのペナルティ**があります。

教育用端末の電源はスリープ運用で集中管理を行っています。**本体および、ディスプレイの電源を切らない**ようお願いします。

3.2.1. 教育用端末へのログイン方法

教育用端末の電源は一定時間アイドル状態が続くとスリープ状態になり、液晶ディスプレイの画面表示がオフになります。スリープ状態を解除して画面表示をオンにするには、キーボードの Ctrl キー

教育用端末(PC)設置場所は、基本的に、飲食物の持ち込みは厳禁です!! やむをえなく持ち込む場合は、鞄に入れてその口を閉じてください。レジ袋の場合は口を縛ってください。決して机の上にペットボトルなどを置かないようにしましょう！自ら「飲食などできる状況ではありません！」とアピールしてください。



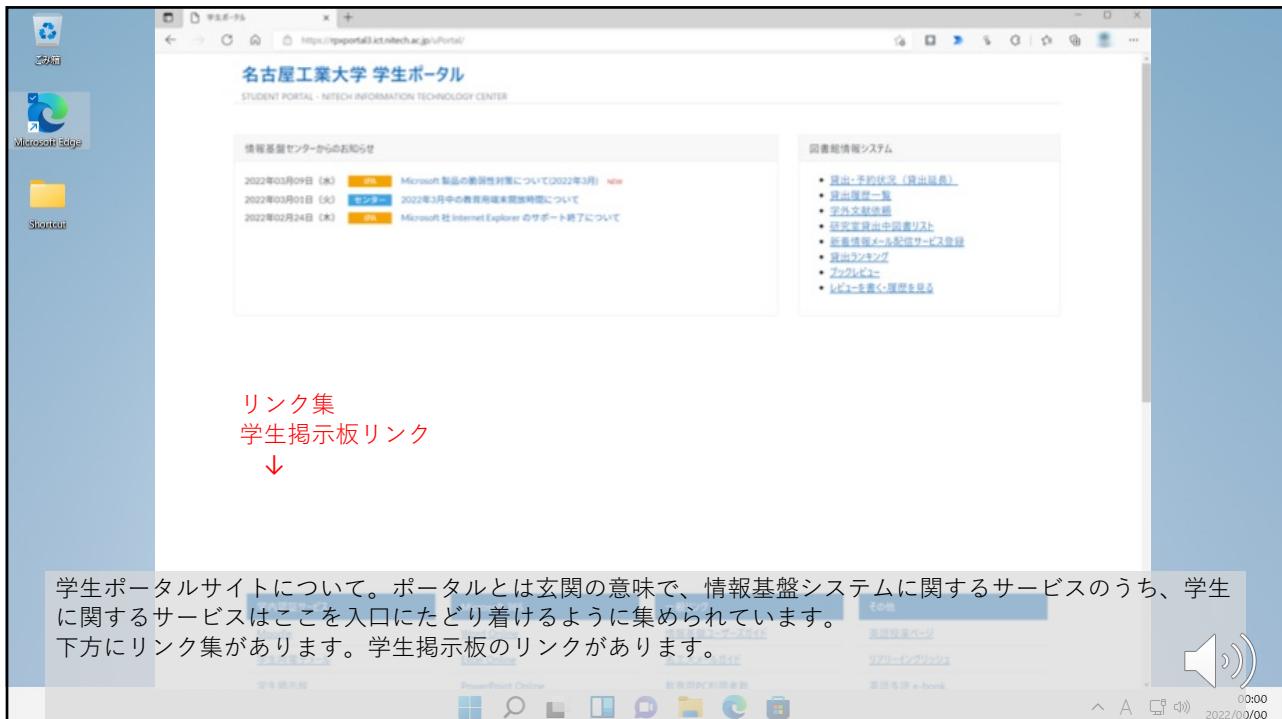
00:00 2022/03/00

5. 学生用ポータルサイト

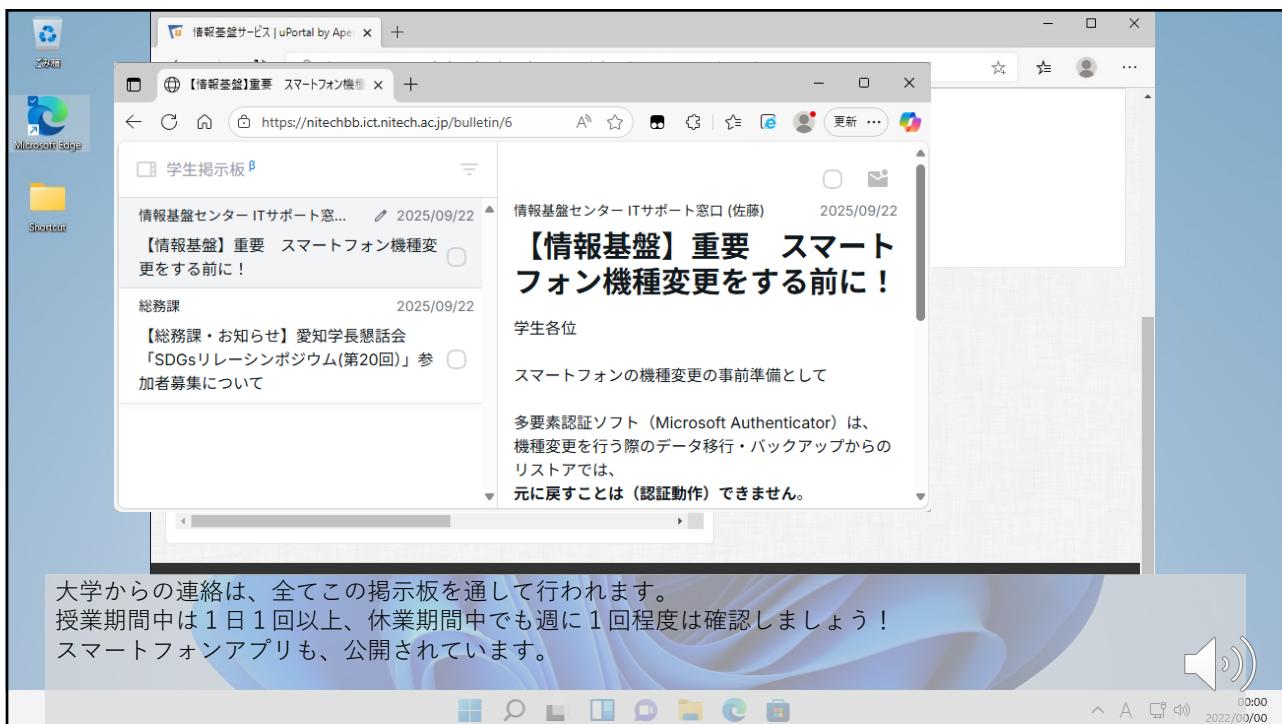
5 章です。



00:00 2022/03/00



学生ポータルサイトについて。ポータルとは玄関の意味で、情報基盤システムに関するサービスのうち、学生に関するサービスはここを入口にたどり着けるように集められています。
下方にリンク集があります。学生掲示板のリンクがあります。



大学からの連絡は、全てこの掲示板を通して行われます。
授業期間中は1日1回以上、休業期間中でも週に1回程度は確認しましょう！
スマートフォンアプリも、公開されています。

国立大学法人名古屋工業大学 情報基盤システム・キャンパス情報ネットワーク ユーザーズガイド 2022 (学生用・抜粋版)

5.6. 統一データベース

5.6.1. 統一データベースとは

統一データベースとは「学内の各種情報を一括管理するデータベース」で、本学の学生と教職員が利用します。これにより、各種申請や情報共有の効率的な運用が実現しています。教育用計算機システムのアカウント管理やICカードの発行などにも利用されています。



統一データベースとは「学内の各種情報を一括管理するデータベース」です。利用者自身の情報を閲覧、更新できます。利用者の情報には入力必須の項目と任意の項目があります。入力必須の項目が未更新の場合は学生ポータルなどへのアクセスが制限される場合がありますので注意してください。

5.6.2. 利用者情報の自己管理

2022/03/00 00:00

6. 学生用電子メール・予定表

6章です。

2022/03/00 00:00

Microsoft Edge

学生用ユーザーズガイド抜粋版.pdf

6.1. 学生用電子メールサービスとは

学生用電子メールサービス（以下、学生メールと呼びます）とは、本学の学生が公式に利用するメールサービスで、学生個々には学生用電子メールアドレス（以下、学生メールアドレスと呼びます）が付与されています。教職員への問い合わせや就職活動、課外活動等で企業の方とやり取りする際など、**本学の学生として何かアクションする場合は本サービスを使うのが良いでしょう。**また、この学生メールアドレスには**教員や事務より重要な連絡が届きます**。少なくとも**一日一回は受信確認**してください。

6.2. 学生メールアドレスとは

メールアドレスの形式は下表をご参照ください。また、学生用ポータルサイト>リンク集>統一DB>個人基本情報の表示・編集で自身に付与された学生メールアドレスを確認できます。

メールアドレス形式	説明
t.meikou.123@stn.nitech.ac.jp (t:名前の頭文字／meikou:姓／123:乱数)	Outlook on the web における既定（送信元）のメールアドレスで、@の前は英字名の頭文字 1 字 + 英字姓 + 数字 3 術で構成されています。これを任意の値に変更することはできません。@の後は「stn」ですので、間違えないようにしてください。 メールアドレスやメールボックスは進学しても引き継がれます。

大学では皆さんに1人1つずつメールアドレスを準備しています。
大学からの連絡は基本的に先述の学生掲示板を通して行われますが、電子的な返答を期待される場合などには、この学生メールを通じて連絡される場合もあります。掲示板に準じて、常に確認できるようにしてください。

◆参考：他の電子メールアドレスには何があるの？

他にも**学生番号@stn.nitech.ac.jp**というメールアドレスがあり、このメールアドレスにメール送信しても学生メールで受信することができます。主に本学の各種システムからメール送信する。

00:00 2022/03/00

Microsoft Edge

学生用ユーザーズガイド抜粋版.pdf

7. オンライン授業サポートシステム「Moodle」

最後に、7章です。

00:00 2022/03/00

国立大学法人名古屋工業大学 情報基盤システム・キャンパス情報ネットワーク ユーザーズガイド 2022 (学生用・抜粋版)

7.1. オンライン授業サポートシステム「Moodle」とは

Moodleは、ウェブ技術によるオンラインの授業のサポートシステムです。Moodleにおいて、授業のコンテンツ全体はコースと呼ばれ、コースにおいて教員は授業の資料を作成・掲示、オンラインでの課題の出題と解答提出の管理、出欠管理、オンラインでの小テストの実施、成績一覧の閲覧等を行うことができます。学生はコースに登録を行うことで、そのコースの資料を閲覧する、課題を提出する、小テストを解答するといったことができるようになります。また、授業時間外での学生の予習復習をサポートするさまざまな機能があります。

7.2. 利用環境

学内の教育用端末はもちろん、Microsoft Edge や Google Chrome といったウェブブラウザの最新版が使えるPCであれば利用可能です。学生ポータル経由でアクセスする場合は必然的に学内からの接続に制限されますが、直接アクセスする場合は学内外のいずれからも利用可能です (VPNは必要ありません)。

7.3. アクセス方法

→学生ポータルを経由して利用する (学内ののみ)

アクセス手順	
●	ポータル > リンク集 > Moodle > Moodle・NiTechOTM ログイン

Moodleとは、オンライン授業サポートシステムです。資料を電子的に配ったり、宿題を電子的に回収したり、テストを電子的に実施したり、と様々な事柄がコンピュータを通して行われています。
なおMoodleでの登録は学務での受講登録と独立しています。シングルサインオンによるMoodle・NiTechOTM ログインは不要に応じて授業や、授業外の講習会などを登録します。
「登録キー」は各担当の先生が授業時にアナウンスします。

2020_学生用_抜粋版_0221 x 2020_学生用_別冊クリックガイド_0221 x

8. 学生出欠管理システム

おかげ、8章 (抜粋版にはありません) の出席管理システムについて紹介します。

国立大学法人名古屋工業大学 情報基盤システム・キャンパス情報ネットワーク ユーザーズガイド 2020 (学生用)【抜粋版】

8.1. 学生出欠管理システムとは

本学の講義室では、ICカード（学生証）による学生出欠管理システム（以下、出欠システム）が導入されています。**授業開始前および授業終了時**には、講義室の壁面に設置されたICカードリーダーにICカード、または登録済みの携帯電話をタッチして、出席を示す打刻を行ってください。

2016年度からはICカードによる出席打刻に加え、スマートフォンなどにインストールしたNitechビロリンでも出席打刻ができるようになりました。

◆出欠システムに関する問い合わせ先

出欠に関する質問は**当該授業の担当教員**に直接してください。ICカードリーダーの故障が疑われる場合は**情報基盤センター**までご連絡ください。

8.2. ICカードリーダーを利用した打刻

8.2.1. ICカードリーダーの標準待ち受け状態

各講義室には、2~3台のICカードリーダーが設置されおり、その画面は下右列の図の上下いずれかになっています。右の上の画面は、その講義室がその時間帯に授業用に予約されている場合に表示されます。右の下は、その講義室が授業用に予約されていない場合の待ち受け画面です。

ガイドなどでも説明があると思いますが、本学では電子的に授業の出席確認を行うシステムを導入しています。ただ、このシステムは単に授業の出欠確認のためだけでなく、**授業中に災害が起こった時などに、どこにどの程度の学生がいたのか、避難できていない学生はいないのか、などの確認への応用も想定していま**す。各授業の先生が「出欠システムは使わない」と仰っても、**打刻（時刻を打ち込む）**しておいてください。なお、成績に関連することは各先生に問い合わせてください。

2020_学生用_抜粋版_0221 x 2020_学生用_別冊クリックガイド_0221 x +

8.2. ICカードリーダーを利用した打刻

8.2.1. ICカードリーダーの標準待ち受け状態

各講義室には、2~3台のICカードリーダーが設置されおり、その画面は下右列の図の上下いずれかになっています。右の上の画面は、その講義室がその時間帯に授業用に予約されている場合に表示されます。右の下は、その講義室が授業用に予約されていない場合の待ち受け画面です。



打刻は、学生証を、各授業の前後に、各教室に設置されているICカードリーダーに、<ピヨリーン！>と「タッチ」してください。先生が出欠確認のだけでなく、(受講登録が完了した後であれば)リンク集の「出欠システム」から自身の出席状況を確認することもできます。学期末に重宝する学生さんもいるようです(笑)。

